

#1 プロセス [英文：process] (JISQ9000:2015 3.4.1)

- 入力を使用して意図した結果を生み出す相互に関連する又は作用する一連の活動 →■**英文解釈**■ 英文は “set of inter-related or interacting activities that use inputs to deliver an intended results” である。“input”を「入力^{#13}」、「intended result」を「所期の結果(109)」として、「入力を使用して所期の結果を生み出す相互に関連する又は作用する一連の活動」の方がよい。この方が組織の目標達成のために様々な作業を統合して必要な結果を出すように行われている「業務」としての活動を指すことが明確になる。
- ✦ 15年版では「アウトプット」は「業務実行の結果」と定義されており^{#39}、これに倣って08年版の定義^{#1p}の用語「アウトプット」が「意図した結果」に置き換えられて表現されている。

#1p プロセス [英文：process] (JISQ9000:2006 3.4.1)

- 入力をアウトプットに変換する、相互に関連する又は相互に作用する一連の活動。 →■**英文解釈**■ 英文は “set of inter-related or interacting activities which transform inputs into outputs” である。すなわち、「入力を出力に変換する、相互に関連する又は相互に作用する一連の活動」である。

#1pp プロセス、工程 [英文：process] (JISZ9901:1998/ISO9001:1994 1.2)

- 入力を出力に変換する、相互に関連する経営資源及び活動のまとめ →■**英文解釈**■ 英文は “set of inter-related resources and activities which transform inputs into outputs” であり、00年版や15年版の定義^{#1}とは「一連の活動」が「一連の資源と活動」になっていることだけである。

#1pp-1 経営資源には、要員、財源、施設、設備、技法及び方法が含まれる。(同上、参考)

#1-1 組織内のプロセスは、価値を付加するために、通常、管理された条件のもとで計画され、実行される (JISQ9000:2006 3.4.1、QS3.12の注記2,3)。

#2 品質 [英文：quality] (JISQ9000:2015, 3.6.2)

- 対象に本来備わっている特性の集まりが、要求事項を満たす程度 →■**英文解釈**■ 英文は “degree to which a set of inherent characteristics of an object fulfils requirements” であり、“object”は、対象とする物事を一般的に指し(101)、規格の定義^{#56}では「知覚できる又は考えることができるすべてのこと」である。“requirement”は必要条件の意味である^{#1}から、「ある物事の一連の固有の特質が必要条件を満たす程度」の方が適切である。
- 08年版の定義^{#2p-2}と英文、和訳ともほぼ全く同じ。

#2p-1 品質 [英文：quality] (JISZ9901:1998/ISO9001:1994 2.1)

- “もの”の、明示された又は暗黙のニーズを満たす能力に関する特性の全体 →■**英文解釈**■ 英文は “totality of characteristics of an entity that bear on its ability to satisfy stated and implied needs”。「“もの”の、表明されたニーズ又は表明されていないが一般に認められているニーズを満たす能力に係る全体的な特質」である。

#2p-2 品質 [英文：quality] (JISQ9000:2006, 3.1.1)

- 本来備わっている特性の集まりが、要求事項を満たす程度。 →■**英文解釈**■ 英文は “degree to which a set of inherent characteristics fulfils requirements” であり、「一連の固有の特質が必要条件を満たす程度」の方が適切。

#2p-3 品質特性 [英文：quality characteristic] (JISQ9000:2006 3.5.2)

- 要求事項に関連する製品、プロセス、又は、システムに本来備わっている特性。

#2p-3-1 製品、プロセス、又は、システムに付与された特性(例 製品の価格、製品の所有者)は、その製品、プロセス、又は、システムの品質特性ではない(同 注記2.)。

#3 力量 [英文：competence] SL-3.10 (JISQ9000:2015, 3.10.4)

- 意図した結果を達成するために知識と技能を適用するための能力 →■**英文解釈**■ 英文は “ability to apply knowledge and skills to achieve intended results” である。「技能(skills)」は「職業上の専門性」であり^{#38}であり、「適用する(apply)」は「特定の状況で機能させる」の意味(101)である。また、「意図した結果」とはその業務に決められた所定の結果のことである。さらに、不定詞 “to achieve” は副詞的用法であり、動詞 “apply” を修飾するから、「知識や専門性を～して所定の結果を～する」である。
- 定義の適切な和訳は「知識と専門性を活用して所定の結果を出す能力」である。
- ✦ 08年版の定義^{#3p}と同趣旨だが、08年版の「能力」が「所定の結果を出す能力」に変わったため、JIS和訳「力量」が、その日本語としての「高い能力」の意味ではなく、与えられた職務を遂行できるかどうかの能力を意味することが明確な表現となった。また、能力の証明を強調する “demonstrated ability” との表現によって、94年版の用語「資格認定」と誤解され易かったが、この言葉も無くなった。

#3-1 注記 実証された力量は、適格性とも言う。 →■**英文解釈**■ 英文は “demonstrated competence is sometimes referred to as qualification” である。“competence”は「職務能力」であり^{#67}、“qualification”は「適格である」であるから、「職務能力のあることが証明された状態は、しばしば、適格であると言われる」である

#3p 力量 [英文：competence] (JISQ9000:2006, 3.1.6)

- 知識と技能を適用するための実証された能力 →■**英文解釈**■ 英文は “demonstrated ability to apply knowledge and